

浸水想定区域図 (想定最大規模)

1

このマップは、国土交通省近畿地方整備局及び奈良県が作成した「浸水想定区域図」に基づいて作成したものです

凡 例	
	指定緊急避難場所
	緊急避難場所協力施設
	指定避難所
	指定避難所(福祉避難所)
	要配慮者関連施設
	防災関連機関
	防災カメラ
	水位計
	危険箇所
	浸水時通行止看板設置箇所

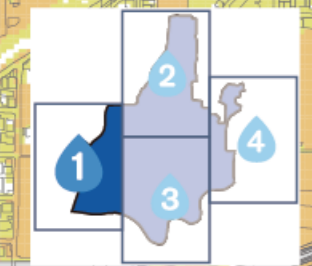
家屋倒壊等氾濫想定区域

洪水氾濫流

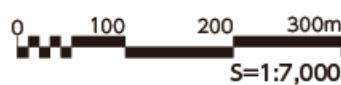
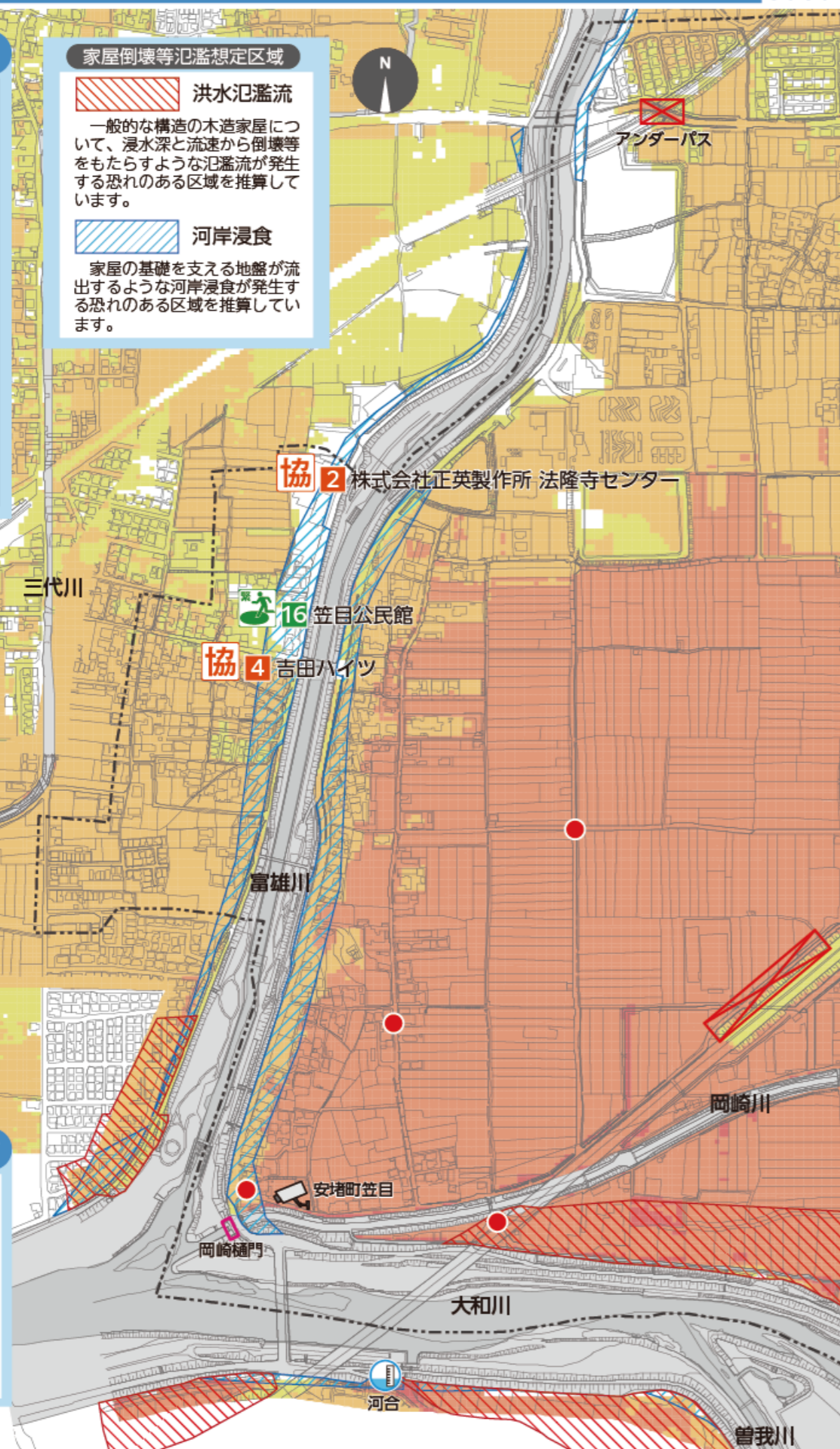
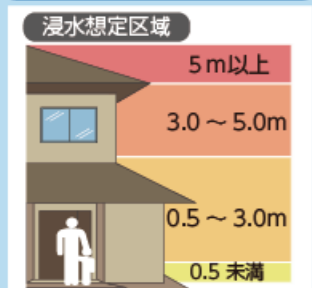
一般的な構造の木造家屋について、浸水深と流速から倒壊等をもたらすような氾濫流が発生する恐れのある区域を推算しています。

河岸浸食

家屋の基礎を支える地盤が流出するような河岸浸食が発生する恐れのある区域を推算しています。



洪水災害予想地域の見方



浸水想定区域図 (想定最大規模)

2

このマップは、国土交通省近畿地方整備局及び奈良県が作成した「浸水想定区域図」に基づいて作成したものです



地下道 (アンダーパス)

鉄道の下など路面が低くなっているところは、水がたまる恐れがあるので、車で入らないようにしましょう。浸水・冠水の危険を感じたら、速やかに車を高台に移動させましょう。



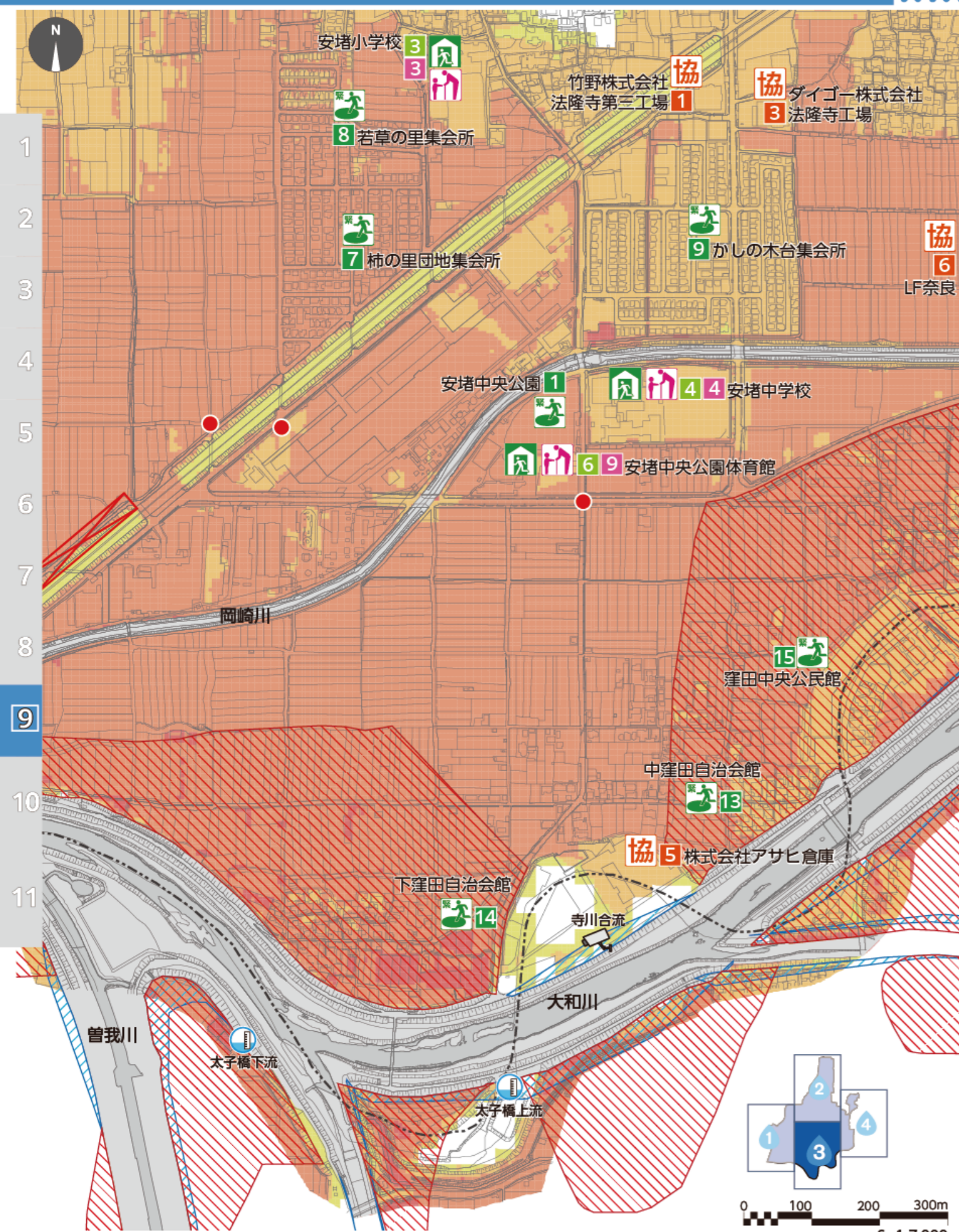
一般的な車両の場合、約30cm以下の冠水で走行困難になる場合があります。



浸水想定区域図 (想定最大規模)

3

このマップは、国土交通省近畿地方整備局及び奈良県が作成した「浸水想定区域図」に基づいて作成したものです



浸水想定区域図 (想定最大規模)

4

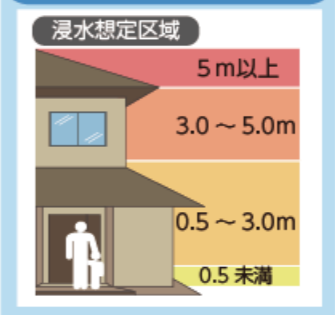
このマップは、国土交通省近畿地方整備局及び奈良県が作成した「浸水想定区域図」に基づいて作成したものです



凡例

	指定緊急避難場所
	緊急避難場所協力施設
	指定避難所
	指定避難所(福祉避難所)
	要配慮者関連施設
	防災関連機関
	防災カメラ
	水位計
	危険箇所
	浸水時通行止看板設置箇所

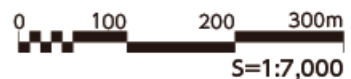
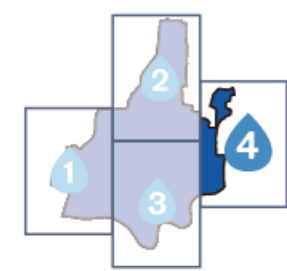
洪水災害予想地域の見方



家屋倒壊等氾濫想定区域

洪水氾濫流
一般的な構造の木造家屋について、浸水深と流速から倒壊等をもたらすような氾濫流が発生する恐れのある区域を推算しています。

河岸浸食
家屋の基礎を支える地盤が流出するような河岸浸食が発生する恐れのある区域を推算しています。



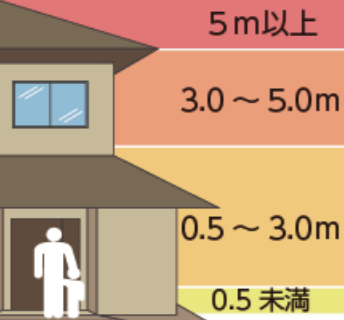
河川別浸水想定区域図 (想定最大規模)

大和川 (佐保川・曾我川) 家屋倒壊等氾濫想定区域 (氾濫流・河岸浸食)

平成28年5月
国土交通省近畿地方整備局発表

洪水災害予想地域の見方

浸水想定区域



※なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の氾濫、想定を超える降雨、内水による氾濫を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合があります。また、土地利用状況の変化等により、実際と異なる浸水状況や、浸水深が発生する場合があります。

●大和川について

大和川は、水源を笠置山地に発して初瀬川渓谷を下り、奈良盆地周辺の山地より南流する佐保川、秋篠川、富雄川、電田川、北流する寺川、飛鳥川、曾我川、葛下川等の大小の支川を合わせながら西流する。その後、大阪府と奈良県の府県境にある亀の瀬狭窄部を経て河内平野に入り、和泉山脈を水源とする左支川石川、東除川、西除川を合わせ、浅香山の狭窄部を通過し、大阪湾に注ぐ幹川流路延長68km、流域面積1,070km²の一級河川である。(以下、河床勾配や河道形態を踏まえ、山地から奈良盆地に至るまでを「上流部」、奈良盆地から亀の瀬狭窄部までを「中流部」、大阪平野から河口までを「下流部」という。)

河川別浸水想定区域図 (想定最大規模)

富雄川 (寺川・大和川・飛鳥川) 家屋倒壊等氾濫想定区域 (氾濫流・河岸浸食)

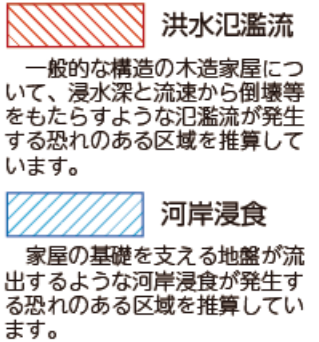
平成31年3月 奈良県発表

●浸水想定区域

この浸水想定区域は、大和川水系の洪水予報区間、富雄川の水位周知区間、寺川の水位周知区間、飛鳥川の水位周知区間について、想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した素面です。
浸水予測に用いた大雨等の条件は次のとおりです。

●大和川流域の12時間
総雨量 316mm
(概ね1000年に一度)

家屋倒壊等氾濫想定区域



●富雄川について

富雄川は、生駒市北部くろんど池に源を発し、矢田丘陵と西の京丘陵の間を流下し、奈良市、大和郡山市を経て、斑鳩町と安堵町の境で大和川に合流する一級河川である。大和川合流点から生駒市高山町までの21.61km (流域面積45.4km²)が奈良県管理区間である。

富雄川の情報
(奈良県土木マネジメント部)
富雄川の水位などの情報がリアルタイムに入手できます。
<http://www.pref.nara.jp/43968.htm>

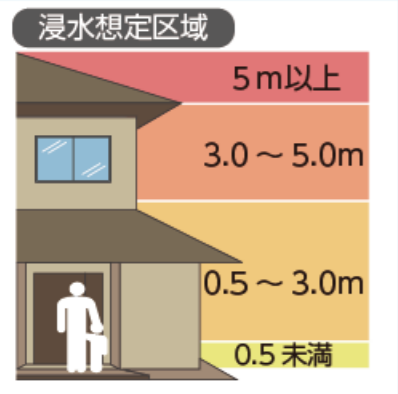
大和川の情報
(国土交通省 大和川河川事務所)
大和川の水位などの情報がリアルタイムに入手できます。また携帯電話からも情報を入手できます。
<http://www.kkr.mlit.go.jp/yamato/index.php>

河川別浸水想定区域図 (想定最大規模)

岡崎川 (三代川・秋葉川) 家屋倒壊等氾濫想定区域 (氾濫流・河岸浸食)

令和5年5月 奈良県発表
[測量法に基づく国土地理院長承認 (使用) R 5JHs 456]

洪水災害予想地域の見方



※なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の氾濫、想定を超える降雨、内水による氾濫を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合があります。また、土地利用状況の変化等により、実際と異なる浸水状況や、浸水深が発生する場合があります。



●浸水想定区域
この浸水区域図は、大和川水系の洪水予報区間、富雄川の水位周知区間、寺川の水位周知区間、飛鳥川の水位周知区間について、想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した素面です。
浸水予測に用いた大雨等の条件は次のとおりです。
●大和川流域の12時間総雨量 316mm (概ね1000年に一度)

●岡崎川について
岡崎川は、大和郡山市今国府町三味田・北林を起点に南西流し、安堵町笠目で富雄川とともに大和川右岸に注ぐ一級河川である。

岡崎川の情報 (奈良県 川の防災情報)
岡崎橋門のカメラ情報がリアルタイムに入手できます。
<http://www.pref.nara.jp/43968.htm>

河川別浸水想定区域図 (浸水継続時間)

大和川 (佐保川・曾我川)

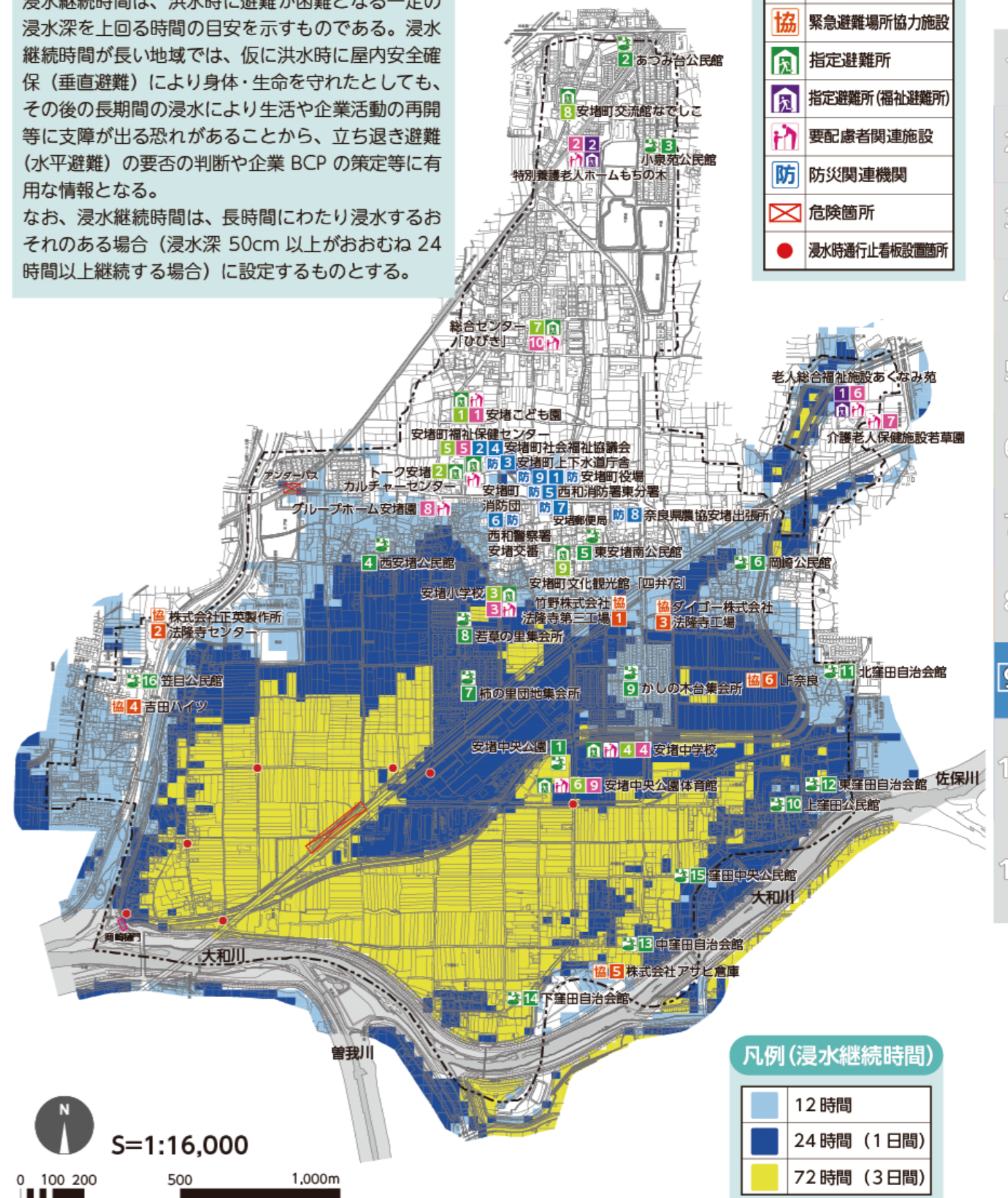
平成28年5月 国土交通省近畿地方整備局発表

浸水継続時間の考え方

浸水継続時間は、洪水時に避難が困難となる一定の浸水深を上回る時間の目安を示すものである。浸水継続時間が長い地域では、仮に洪水時に屋内安全確保 (垂直避難) により身体・生命を守れたとしても、その後の長期間の浸水により生活や企業活動の再開等に支障が出る恐れがあることから、立ち退き避難 (水平避難) の要否の判断や企業 BCP の策定等に有用な情報となる。
なお、浸水継続時間は、長時間にわたり浸水するおそれのある場合 (浸水深 50cm 以上がおおむね 24 時間以上継続する場合) に設定するものとする。

凡例

	指定緊急避難場所
	緊急避難場所協力施設
	指定避難所
	指定避難所 (福祉避難所)
	要配慮者関連施設
	防災関連機関
	危険箇所
	浸水時通行止看板設置箇所



凡例 (浸水継続時間)

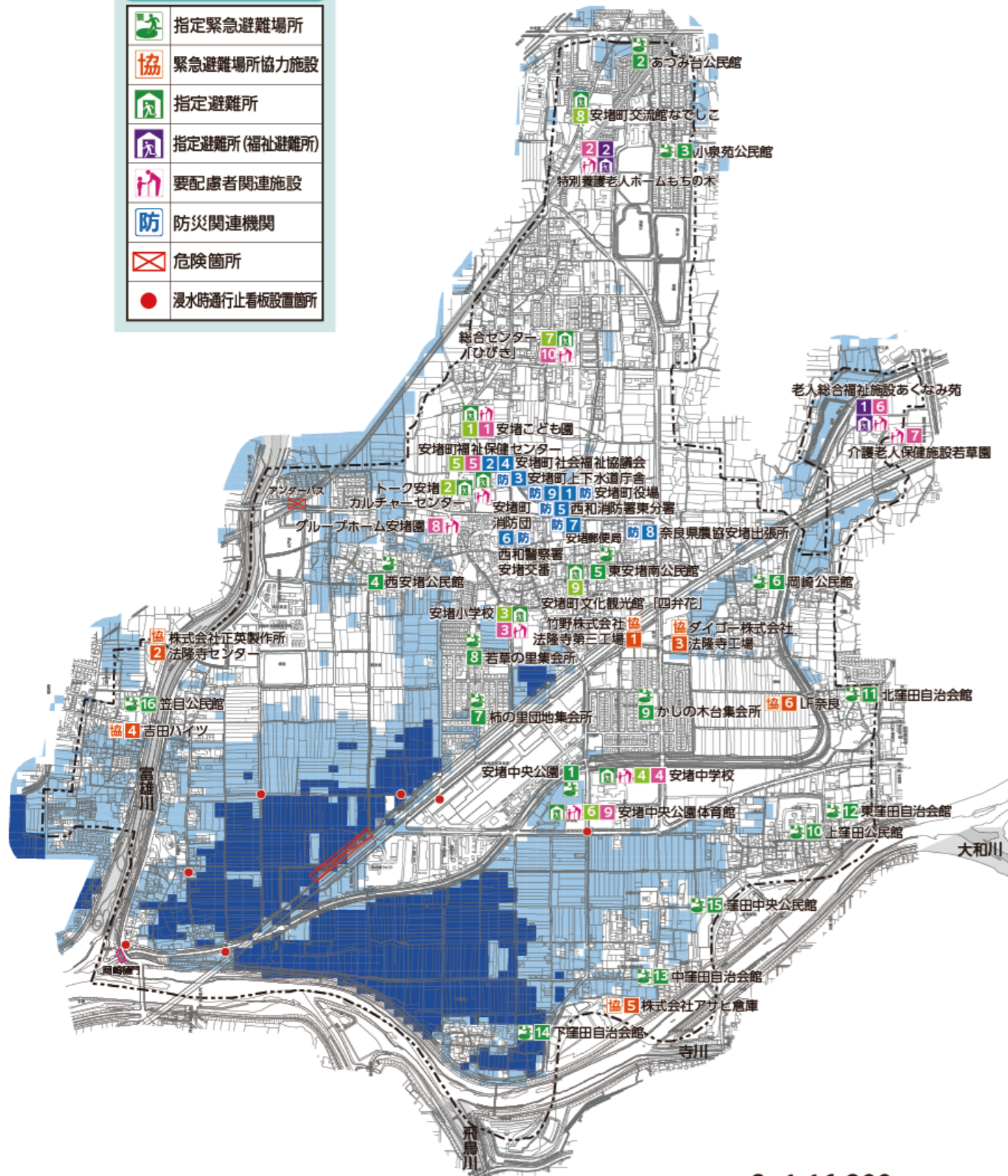
	12 時間
	24 時間 (1 日間)
	72 時間 (3 日間)

S=1:16,000
0 100 200 500 1,000m

富雄川(寺川・大和川・飛鳥川)

平成31年3月 奈良県発表

凡例	
	指定緊急避難場所
	緊急避難場所協力施設
	指定避難所
	指定避難所(福祉避難所)
	要配慮者関連施設
	防災関連機関
	危険箇所
	浸水時通行止看板設置箇所



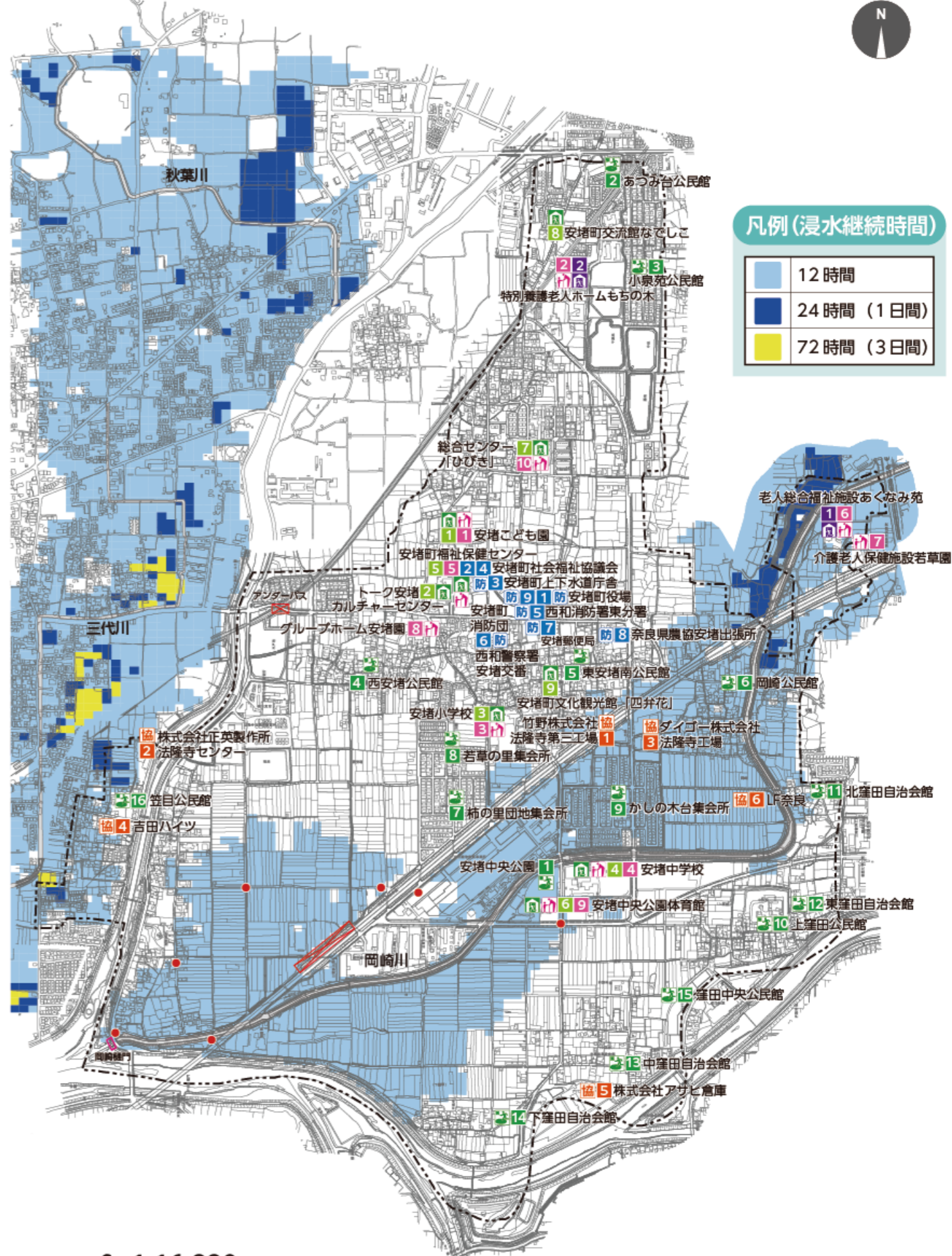
S=1:16,000



岡崎川(三代川・秋葉川)

令和5年5月 奈良県発表

凡例(浸水継続時間)	
	12時間
	24時間(1日間)
	72時間(3日間)



S=1:16,000



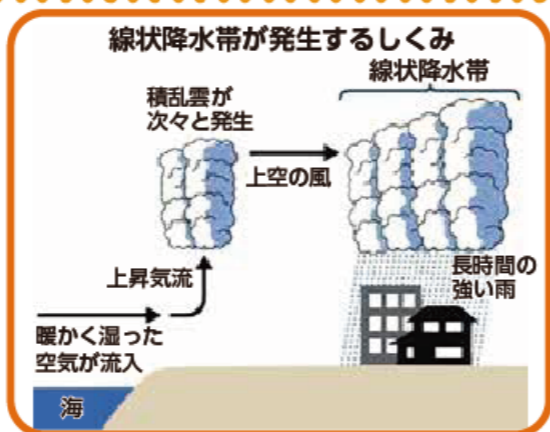
雨の強さ・降り方と災害の危険性

	やや強い雨 10~20mm未満	強い雨 20~30mm未満	激しい雨 30~50mm未満	非常に激しい雨 50~80mm未満	猛烈な雨 80mm以上
1時間雨量と予報用語					
人の受けるイメージ	●ザーザーと降る。	●どしゃ降り。	●バケツをひっくり返したように降る。	●滝のように降る。(ゴーゴーと降り続く)	●息苦しくなるような圧迫感がある。 ●恐怖を感じる。
人への影響と屋外の様子	●地面からはね返りで足元がぬれる。	●傘をさしていてもぬれる。 ●車の場合、ワイパーを速くしても見づらい。	●道路が川のようになる。	●傘はまったく役に立たなくなる。 ●水しぶきで、あたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。	
災害の危険性	●この程度の雨でも、長く続くときは注意が必要。	●側溝や水路、小さな川があふれ、道路冠水のおそれがある。 ●小規模の土砂崩れのおそれがある。	●土砂崩れが起きやすくなり、危険地帯では避難の準備が必要。	●土石流が起こりやすい。 ●多くの災害が発生する。	●雨による大規模な災害が発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要。

※表に示した雨量が同じであっても、降り始めからの総雨量の違いや、地形や地質等の違いによって被害の様子は異なることがあります。この表では、ある雨量が観測された際に通常発生する現象や被害を記述していますので、これより大きな被害が発生したり、逆に小さな被害にとどまる場合もあります。

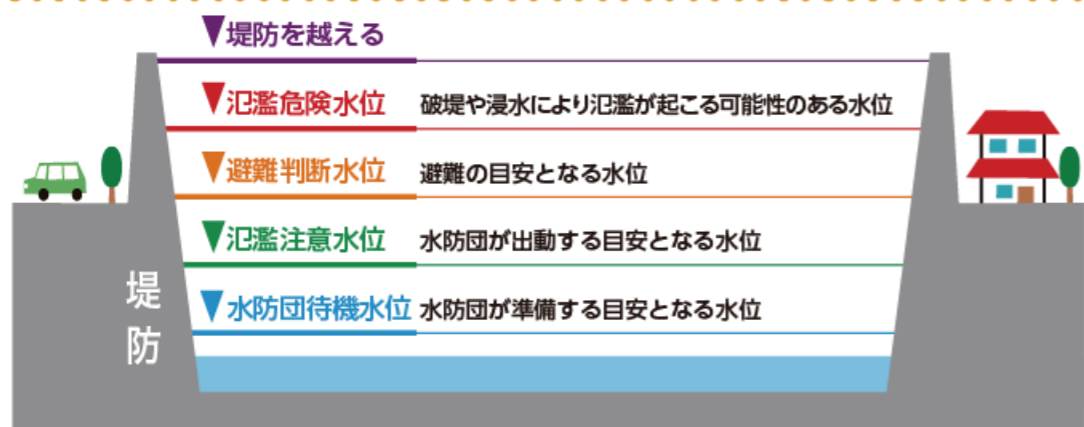
線状降水帯情報

発達した積乱雲が帯状に連なり、大雨による被害をもたらす「線状降水帯」。気象庁はこの「線状降水帯」による大雨が確認された場合に新たな情報を発表し、住民に厳重な警戒や身の安全の確保を呼びかけることになりました。



気象庁は、洪水や土砂災害などのリスクが高い地域では市町村からの避難の情報や気象庁のホームページで確認できる危険度分布、河川の水位情報などをもとに早めの避難を心がけてほしいとしています。

河川の水位情報



ため池ハザードマップについて

ため池ハザードマップは、地震や大雨によって万が一ため池が決壊する恐れがある場合または決壊した場合に迅速かつ安全に避難するために役立つ情報を提供するものです。また、住民のみなさんがため池ハザードマップを通じて想定される被害を知ること、地域の防災・減災力の向上に取り組まれることを目的としています。

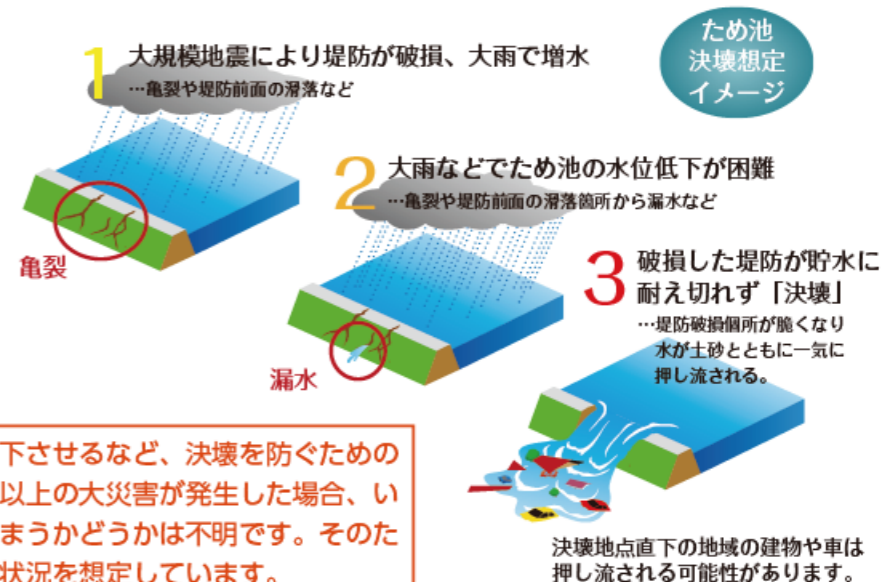
気象情報（警報・注意報発表基準）に注意しましょう

大雨・洪水注意報	大雨・洪水警報	記録的短時間大雨情報	特別警報
1時間雨量	1時間雨量	1時間雨量	
平坦地…30mm 平坦地以外…40mm	平坦地…50mm 平坦地以外…60mm	100mm	数十年に一度の大雨が予想され、降水量が警報基準を大きく超えるような大雨

もしも、ため池の堤防が壊れたら

氾濫シミュレーション

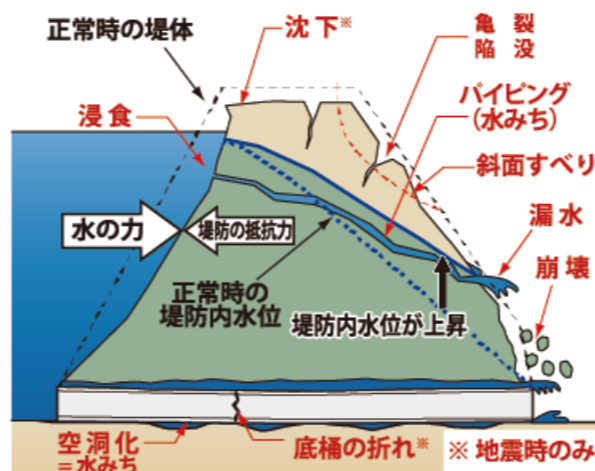
本ハザードマップ作成にあたり、万が一の事態でため池が決壊した場合、最大でどの程度の被害範囲となるかを知るために、最悪の状況を想定した被害予測を行いました。地図上では、想定される最大の浸水範囲と深さを示しています。



緊急事態においては、ため池の水位を低下させるなど、決壊を防ぐための処置が行われる場合もありますが、想定以上の大災害が発生した場合、いつどのような状況でため池が決壊してしまうかは不明です。そのため、総貯水量があふれるような、最悪の状況を想定しています。

ため池が危険なとき

危険なため池(堤体の断面図)



- 急激な水位上昇により、貯留水が堤体を越えようとする場合
- 漏水が急激に増えた場合や漏水に濁りが生じた場合
- 堤体が陥没し、漏水が生じた場合

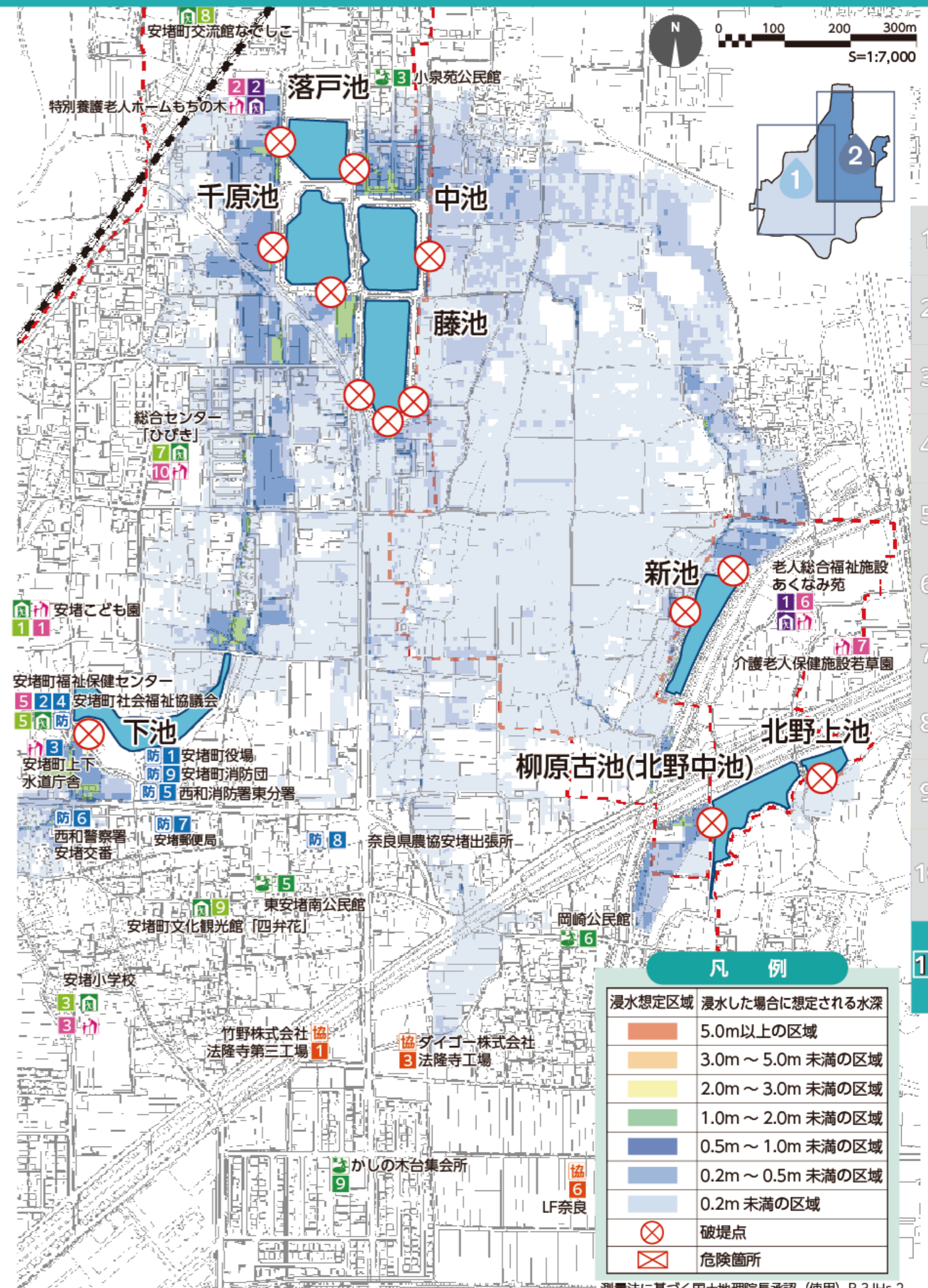
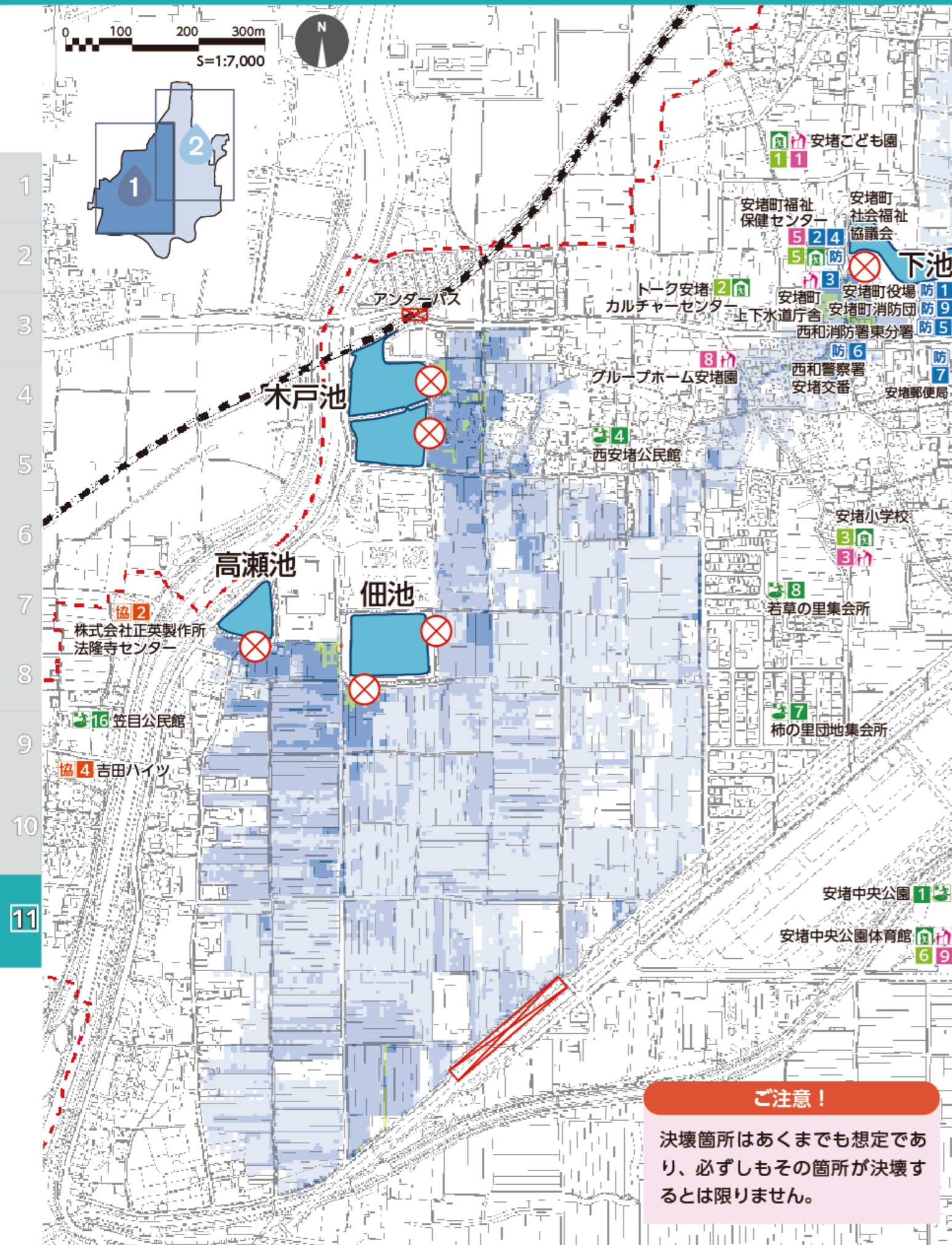


- 堤体に陥没や亀裂が発生し、急激な漏水量の増加や漏水に濁りが生じた場合

異常を発見したら町に連絡しましょう。

TEL : 0743-57-1511 (代表)
FAX : 0743-57-1525

ため池浸水想定全体図



マイ・タイムライン

事前の確認表

チェックしてみよう

自宅の近くに川・池はある？

_____ 川

用水路 ため池

住んでいる地域の危険は？

大和川洪水浸水想定区域内

富雄川洪水浸水想定区域内

岡崎川洪水浸水想定区域内

ため池洪水浸水想定区域内

家族で決めた避難場所は？

自宅の上階（大雨時）

自宅外 → _____

移動時間 → _____

非常食・飲料水の備蓄は？

3日間 7日間

どのタイミングで避難しますか？

警戒レベル _____ で避難開始

避難場所は？

避難先 → _____

離ればなれになった時は？

名前 → _____

緊急連絡先 → _____

名前 → _____

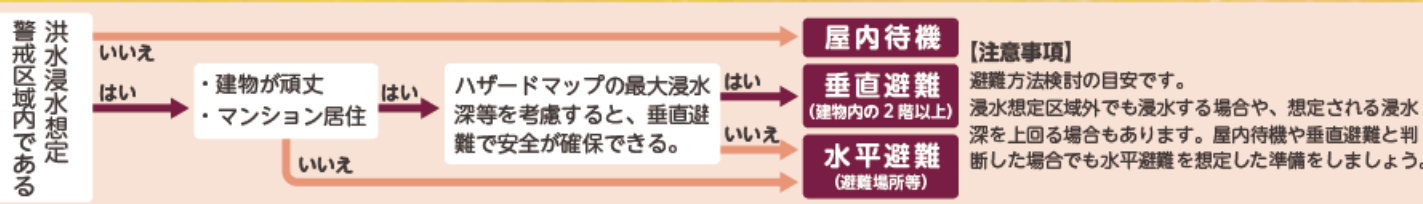
緊急連絡先 → _____

名前 → _____

緊急連絡先 → _____

家族の集合場所 → _____

避難行動の検討



※市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令されるものではない

避難情報が出たら速やかに避難しましょう

警戒レベル	レベル 1 早期注意情報 (気象庁)	レベル 2 大雨・洪水注意報 (気象庁)	レベル 3 高齢者等避難	レベル 4 避難指示	レベル 5 緊急安全確保*
状況	今後気象状況悪化のおそれ	気象状況悪化	災害のおそれあり	災害のおそれ高い	災害発生又は切迫
住民がとるべき行動	災害への心構えを高める ▶気象情報をこまめに確認 ▶家族の今後の予定を調べておく ▶車にガソリンを給油する ▶マイ・タイムラインの確認	自らの避難行動を確認 ▶持ち出し品の確認 ▶避難経路の確認 ▶体温を測り、健康状態を確認する ▶マスクやアルコール消毒液、体温計、スリッパなどの衛生用品を準備する	危険な場所から高齢者等は避難 ▶高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始める。 ▶危険を感じたら自主的に避難する。	危険な場所から全員避難 ▶家族で決めた避難所へ避難 ▶安全な場所へ避難	命の危険直ちに安全確保! ▶命を守るための最善の行動
気象情報	早期注意情報 (警戒級の可能性)	雨 大雨注意報 洪水注意報	大雨警報 洪水警報	氾濫危険情報	大雨特別警報 氾濫発生情報
川		氾濫注意情報	氾濫警戒情報		
行動記入欄	(記入例)	母 家のまわりの飛びそうなものを片付ける	長女 父母に避難することを伝える	全員 避難開始(徒歩で15分)	

警戒レベル4までに必ず避難!

避難行動予定表 (マイ・タイムライン)

マイ・タイムラインとは住民一人ひとりのタイムライン（防災行動計画）であり、台風等の接近による大雨によって河川の水位が上昇する時に、自分自身がとる標準的な防災行動を時系列的に整理し、自ら考え命を守る避難行動のための一助とするものです。

マイ・タイムラインは安堵町ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます
<http://www.town.ando.nara.jp/>